

平成 23 年度 大栄経理学院

第 128 回日商簿記検定試験 模範解答

3 級

商 業 簿 記

第 1 問 (20 点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	当 座 預 金	19,600	受 取 手 形	20,000
	手 形 売 却 損	400		
2	貸 倒 引 当 金	25,000	売 掛 金	30,000
	貸 倒 損 失	5,000		
3	仕 入	80,000	前 払 金	16,000
			買 掛 金	64,000
4	給 料	200,000	当 座 預 金	170,000
			預 り 金	20,000
			立 替 金	10,000
5	建 物	820,000	当 座 預 金	820,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

第 2 問 (10 点)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1. 小口現金出納帳	1	1	1	1	①
2. 当座預金出納帳	②	2	②	2	②
3. 仕入帳	③	3	3	3	3
4. 売上帳	4	④	4	4	4
5. 支払手形記入帳	⑤	5	5	5	5
6. 受取手形記入帳	6	⑥	⑥	6	6
7. 仕入先元帳 (買掛金元帳)	7	7	7	⑦	7
8. 得意先元帳 (売掛金元帳)	8	⑧	8	⑧	8
9. 商品有高帳	⑨	⑨	9	9	9

各問につき 2 点 合計 10 点
(配点は、当学院の予想です)

第 3 問 (30 点)

残 高 試 算 表

平成 23 年 1 月 31 日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
271,000	現 金	
995,000	当 座 預 金	
368,000	受 取 手 形	
370,000	売 掛 金	
100,000	売買目的有価証券	
165,000	未 収 金	
136,000	繰 越 商 品	
1,000,000	建 物	
450,000	備 品	
	支 払 手 形	282,000
	買 掛 金	332,000
	借 入 金	500,000
	貸 倒 引 当 金	13,000
	建物減価償却累計額	300,000
	備品減価償却累計額	30,000
	資 本 金	2,435,000
	売 上	341,000
	受 取 手 数 料	13,000
	有価証券売却益	15,000
	受 取 利 息	2,000
256,000	仕 入	
78,000	給 料	
24,000	広 告 宣 伝 費	
42,000	旅 費 交 通 費	
6,000	支 払 利 息	
2,000	(固 定 資 産 売 却 損)	
4,263,000		4,263,000

1 つにつき 3 点 合計 30 点
(配点は、当学院の予想です)

第 4 問 (8 点)

引 出 金			資 本 金		
3/10 現 金 (100,000)	(12/31) イ (130,000)		12/31 ウ (130,000)	1/1 前期繰越 (4,000,000)	
(4/28) 現 金 (20,000)			" エ (160,000)		
(10/20) ア (10,000)			" 次期繰越 (3,710,000)		
(130,000)		(130,000)	(4,000,000)		(4,000,000)

相手勘定科目記入欄

ア	仕 入	イ	資 本 金	ウ	引 出 金	エ	損 益
---	-----	---	-------	---	-------	---	-----

1 つにつき 1 点 合計 8 点
(配点は、当学院の予想です)

第 5 問 (32 点)

精 算 表

勘 定 科 目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	351,600						351,600	
当 座 預 金	675,000						675,000	
受 取 手 形	379,000			56,000			323,000	
売 掛 金	387,000			60,000			327,000	
売買目的有価証券	1,266,000			185,000			1,081,000	
繰 越 商 品	462,000		444,000	462,000			444,000	
仮 払 金	150,000			150,000				
貸 付 金	1,300,000						1,300,000	
建 物	5,000,000						5,000,000	
備 品	800,000		240,000				1,040,000	
土 地	6,000,000						6,000,000	
支 払 手 形		347,000						347,000
買 掛 金		331,000	56,000					275,000
前 受 金		16,000		15,000				31,000
未 払 金		35,000		90,000				125,000
仮 受 金		75,000	75,000					
貸 倒 引 当 金		8,800		10,700				19,500
建物減価償却累計額		2,700,000		225,000				2,925,000
備品減価償却累計額		480,000		128,000				608,000
資 本 金		10,000,000						10,000,000
売 上		24,288,000				24,288,000		
受 取 家 賃		322,000	46,000			276,000		
受 取 利 息		4,800		15,600		20,400		
仕 入	19,085,000			19,085,000				
給 料	1,116,000				1,116,000			
旅 費 交 通 費	562,000				562,000			
水 道 光 熱 費	432,000				432,000			
保 険 料	231,000			99,000	132,000			
通 信 費	187,000				187,000			
支 払 手 数 料	126,000				126,000			
消 耗 品 費	98,000			18,300	79,700			
	38,607,600	38,607,600						
売 上 原 価			462,000	444,000	19,103,000			
			19,085,000					
貸倒引当金繰入			10,700		10,700			
有価証券評価(損)			185,000		185,000			
減 価 償 却 費			353,000		353,000			
(消 耗 品)			18,300				18,300	
(未 収) 利 息			15,600				15,600	
(前 払) 保 険 料			99,000				99,000	
(前 受) 家 賃				46,000				46,000
当期純(利益)					2,298,000			2,298,000
			21,089,600	21,089,600	24,584,400	24,584,400	16,674,500	16,674,500

☐ 1 つにつき 3 点 ☐ 1 つにつき 2 点 合計 32 点
 (配点は、当学院の予想です)

【 3 級解説 】

第 1 問

1. 手形を割り引いたときに差し引かれる割引料は「手形売却損」勘定で処理する。
2. 貸倒引当金残高を上回る貸倒額については、「貸倒損失」勘定で処理する。
3. 商品を受け取った時点で仕入が計上される。なお、かねて支払い済みの内金は「前払金」勘定で処理されているため、仕入を計上すると同時に「前払金」勘定を取り消す。
4. 給料支払時に徴収する所得税は「預り金」勘定で計上し、立替分の回収は「立替金」勘定の減少として処理する。指定された勘定科目を正確に使用すること。
5. 固定資産購入時の付随費用は、固定資産の取得原価に含める。

第 2 問

各取引の仕訳は以下のとおりである。(仕訳の単位：円)

(1)	(仕 入)	90,000	(当 座 預 金)	30,000
			(支 払 手 形)	60,000
(2)	(受 取 手 形)	40,000	(売 上)	108,000
	(売 掛 金)	68,000		
(3)	(当 座 預 金)	400,000	(受 取 手 形)	400,000
(4)	(買 掛 金)	60,000	(売 掛 金)	60,000
(5)	(交 通 費)	8,000	(当 座 預 金)	23,200
	(消 耗 品 費)	3,900		
	(通 信 費)	7,200		
	(雑 費)	4,100		

第 3 問

1 月中取引の仕訳は以下のとおりである。

1.	(受 取 利 息)	1,000	(未 収 利 息)	1,000
	(未 払 告 宣 伝 費)	22,000	(告 宣 伝 費)	22,000
2.	(備品減価償却累計額)	30,000	(備 品)	50,000
	(現 金)	18,000		
	(固 定 資 産 売 却 損)	2,000		
3.	(現 金)	82,000	(売 掛 金)	82,000
4.	(現 金)	31,000	(売 上)	31,000
5.	(買 掛 金)	44,000	(現 金)	44,000
6.	(当 座 預 金)	50,000	(現 金)	50,000
7.	(当 座 預 金)	60,000	(売 掛 金)	60,000
8.	(仕 入)	33,000	(現 金)	33,000
9.	(当 座 預 金)	13,000	(受 取 手 数 料)	13,000
10.	(仮 払 金)	50,000	(現 金)	50,000
11.	(告 宣 伝 費)	46,000	(当 座 預 金)	46,000
12.	(売 掛 金)	134,000	(売 上)	134,000
13.	(受 取 手 形)	176,000	(売 上)	176,000
14.	(当 座 預 金)	80,000	(受 取 手 形)	80,000

15.	(仕入)	98,000	(買掛金)	98,000
16.	(仕入)	65,000	(支払手形)	65,000
17.	(仕入)	60,000	(前払金)	60,000
18.	(支払手形)	75,000	(当座預金)	75,000
19.	(未収金)	165,000	(売買目的有価証券)	150,000
			(有価証券売却益)	15,000
20.	(当座預金)	603,000	(貸付金)	600,000
			(受取利息)	3,000
21.	(支払利息)	6,000	(当座預金)	6,000
22.	(旅費交通費)	42,000	(仮払金)	50,000
	(現金)	8,000		
23.	(給料)	78,000	(当座預金)	78,000

第4問

各日付における仕訳は以下のとおりである。

3/10	(引出金)	100,000	(現金)	100,000
4/28	(租税公課)	30,000	(現金)	50,000
	(引出金)	20,000		
10/20	(引出金)	10,000	(仕入)	10,000
12/31	(資本金)	130,000 ^{*1}	(引出金)	130,000
〃	(資本金)	160,000 ^{*2}	(損益)	160,000

*1 期中引出額が「引出金」勘定の借方に計上されているため、決算時にこれを「資本金」勘定に振り替える。

*2 決算整理後、各収益科目の残高は「損益」勘定の貸方に振り替えられ、各費用科目の残高は「損益」勘定の借方に振り替えられる。この「損益」勘定の残高が当期純損益であり、これを「資本金」勘定に振り替える。

収益¥5,870,000－費用¥6,030,000＝純損失¥160,000

第5問

未記帳事項

1. 仮受金について

(仮 受 金)	75,000	(売 掛 金)	60,000
		(前 受 金)	15,000

2. 仮払金について

(備 品)	240,000	(仮 払 金)	150,000
		(未 払 金)	90,000

3. 買掛金について

(買 掛 金)	56,000	(受 取 手 形)	56,000
-----------	--------	-------------	--------

期末整理事項等

1. 貸倒引当金の設定について

(貸倒引当金繰入)	10,700 *	(貸 倒 引 当 金)	10,700
-------------	----------	---------------	--------

* 受取手形： $\text{¥}379,000 - \text{¥}56,000 = \text{¥}323,000$

売 掛 金： $\text{¥}387,000 - \text{¥}60,000 = \text{¥}327,000$

$\therefore (\text{¥}323,000 + \text{¥}327,000) \times 3\% - \text{¥}8,800 = \text{¥}10,700$

2. 売買目的有価証券の評価替について

(有価証券評価損)	185,000 *	(売買目的有価証券)	185,000
-------------	-----------	--------------	---------

* 時価 $\text{¥}1,081,000 - \text{簿価}\text{¥}1,266,000 = \Delta\text{¥}185,000$

3. 売上原価の算定について

(売 上 原 価)	462,000 ^{*1}	(繰 越 商 品)	462,000
(売 上 原 価)	19,085,000 ^{*2}	(仕 入)	19,085,000
(繰 越 商 品)	444,000 ^{*3}	(売 上 原 価)	444,000

*1 期首商品棚卸高：整理前 T/B 「繰越商品」勘定より

*2 当期商品仕入高：整理前 T/B 「仕入」勘定より

*3 期末商品棚卸高

4. 減価償却について

(減 価 償 却 費)	353,000	(建物減価償却累計額)	225,000 ^{*1}
		(備品減価償却累計額)	128,000 ^{*2}

*1 $(\text{¥}5,000,000 - \text{¥}500,000) \div 20 \text{ 年} = \text{¥}225,000$

*2 既存備品： $(\text{¥}800,000 - \text{¥}80,000) \div 6 \text{ 年} = \text{¥}120,000$

新備品： $(\text{¥}240,000 - \text{¥}0) \div 5 \text{ 年} \times \frac{2 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}} = \text{¥}8,000$ 合計 $\text{¥}128,000$

5. 貸付金について

(未 収 利 息)	15,600 *	(受 取 利 息)	15,600
-------------	----------	-------------	--------

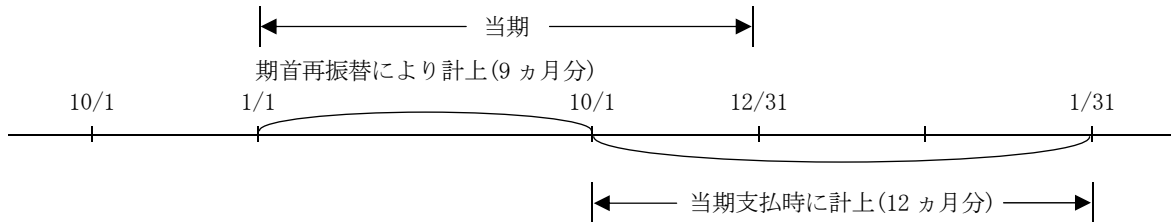
* $\text{¥}1,300,000 \times 3.6\% \times \frac{4 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}} = \text{¥}15,600$ (当期 9/1～12/31 までの 4 ヲ月分を見越計上する)

6. 保険料について

(前 払 保 険 料)	99,000 *	(保 険 料)	99,000
---------------	----------	-----------	--------

* 前期の決算で、9 ヶ月分が繰延べられているため、決算整理前試算表の保険料¥231,000 は期首再振替による 9 ヶ月(1/1～9/30)と期中支払 12 ヶ月(10/1～翌 9/30)の合計 21 ヶ月分である。

$$¥231,000 \times \frac{9\text{ヶ月}}{21\text{ヶ月}} = ¥99,000 (\text{翌年 1/1} \sim 9/30 \text{ までの 9 ヶ月分を繰延べる})$$



1/ 1 の処理：(保 険 料)	99,000	(前 払 保 険 料)	99,000
10/1 の処理：(保 険 料)	132,000	(現 金 等)	132,000

7. 消耗品について

(消 耗 品)	18,300 *	(消 耗 品 費)	18,300
-----------	----------	-------------	--------

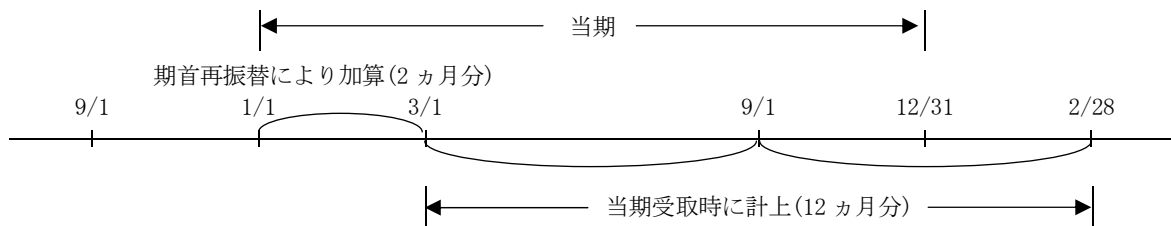
* 消耗品購入時に「消耗品費」勘定(費用)で処理しているため、決算時において未消費分を「消耗品」勘定(資産)に振り替える。

8. 受取家賃について

(受 取 家 賃)	46,000 *	(前 受 家 賃)	46,000
-------------	----------	-------------	--------

* 前期の決算で、2 ヶ月分が繰延べられているため、決算整理前試算表の受取家賃¥322,000 は期首再振替による 2 ヶ月(1/1～2/28)と期中支払 12 ヶ月(3/1～翌 2/28)の合計 14 ヶ月分である。

$$¥322,000 \times \frac{2\text{ヶ月}}{14\text{ヶ月}} = ¥46,000 (\text{翌年 1/1} \sim 2/28 \text{ までの 2 ヶ月分を繰延べる})$$



1/ 1 の処理：(前 受 家 賃)	46,000	(受 取 家 賃)	46,000
3/ 1 の処理：(現 金 預 金)	138,000	(受 取 家 賃)	138,000
9/ 1 の処理：(現 金 預 金)	138,000	(受 取 家 賃)	138,000